

# TOKYO BIGSIGHT ART WALK

東京ビッグサイトは、ウォーターフロントに広がる「水の都市」をイメージし、海に育まれた江戸・東京の親水文化を現代に再現することを意識して設計されました。

例えば、逆三角形をした会議棟は「海に浮かぶ空中都市」、展示棟の屋根は「波」、レセプションホールの屋根は「船」、ガレリアは「栈橋」をイメージしています。

建物の一つひとつがウォーターフロントと調和をしつつ、一体化して風景をつくり出す配慮がされているのです。「水の都市」の風景とともに、アートウォークをお楽しみください。



## 1 Saw,Sawing (切っている鋸)

作者: クレス・オルデンバーク

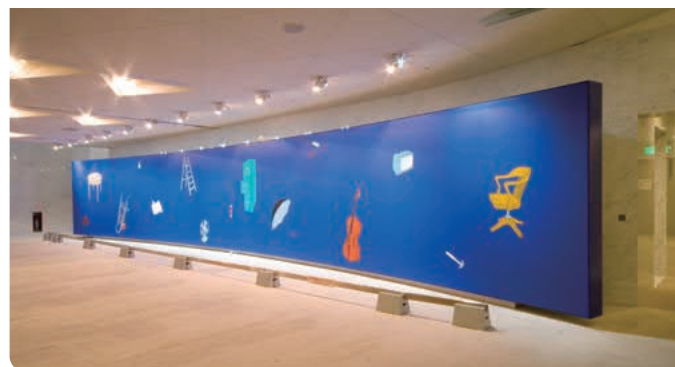


東京ビッグサイトの中央ターミナル入口にある高さ15.5mの巨大な鋸の彫刻。アメリカのポップアートを代表する作家の作品です。あたかも大地の層を切っているように斜めに配置されたこの作品は「問題解決のプロセス」を表現しています。

## 3 Floating World

作者: マイケル・クレイグ＝マーティン

レセプションホール・ホワイエの壁面に飾られた作品。長い曲線状の壁面に描かれた傘やバイオリンなど、ほぼ実物大の15個の物体が、濃いブルーの空間に浮かんだり立ったりしているように見えます。この作品を照らすライトは、屋上に設置した集光装置と光ファイバーケーブルを通して集めた太陽光を用いています。



## 4 マブキの時空

作者: 斎藤義重

会議棟7Fロビーに設置されています。素材はマホガニーとブピンガーという年輪を幾年も重ねた巨大な木材。この重厚な素材が軽やかに、またダイナミックなリズムを持って、広い壁面に設置され、大きな空間にひとつのテンポを与えた環境をつくり出しています。



## 5 項 (Relatum)

作者: 李禹煥



西展示棟1Fアトリウム入口前にあるオブジェ。静かに揺れ動く水中に、広く厚い鉄板を置き、それを囲んで4個の大きな石を向き合わせ、まるで四方からテーブルを囲んで対話を交わしているような光景を表わしています。石と鉄板と水と光とがつくり出す景色は、絶えずみずみずしく奥ゆかしいものとして人々に働きかけ、あたりの空気を活性化していくことでしょう。

## 6 UNTITLED-Three type #3

作者: 笠原恵実子



会議棟カフェテリア前庭にあるこの作品は、大理石で彫られた3つのベッドそれぞれに、3つの穴を象徴するものとしてステンレススティールの磨き上げられた排水口が設けられています。ベッド、それは私達が生まれてくる場所、死んでいく場所などを表わし、人間の生、そして性が転換していく循環系を意味しています。

## 7 東京湾池



会議棟北側の庭園(レストラン街正面)にある東京湾池は、東京湾のウォーターフロントに立地する東京ビッグサイトの特性を景観に取り込みつつ、来場されるお客様が水辺に親しんでいただけるよう設けられています。



## 8 大きなカラーボール

東京ビッグサイトの広い場内の要所に、直径1m以上もある緑・青・赤のカラーボールがあります。金属とガラスで造られた無機質な感じのする建物に大きなカラーボール、この取合せの妙を楽しみながら、待ち合わせにご利用ください。  
 緑…エントランスホール(2F)  
 青…西展示棟アトリウム(1F)  
 赤…東展示棟ガレリア東1ホール側(2F)



## 9 雲のオブジェ

西展示棟の屋上展示場、会議棟と東展示棟を結ぶデッキなどの各所に、「雲のオブジェ」が設置されています。超自然をテーマにした13の要素「地球・星・山・島・家・雨・風・波・光・稲妻・卵・実・結晶」が、白い膜によって幾何学的なデザインで表現されています。ひとつひとつのデザインの違いを見比べてみてください。



## 2 七つの泉

作者: 長沢英俊



会議棟の北側には、七つの泉・広場・土塁・歩道がデザインされた庭園が広がっています。七つの泉は、大理石で作られた3~9角形の7つの池と柱で構成されており、柱からは水が滴り池に注ぎ込むように設計されています。(水は宇宙をめぐる、石は万古のリズムをとらえ、静かに脈動するもの。もうひとつの自然。)